

もも組だより3月号

令和3年3月19日 ことり保育園 担当森田

日に日に寒さが和らぎ、春がすぐそこまで来ていることを感じます。毎日元気いっぱい、とても賑やかです。



最近、「お話を聞く」習慣が身についてきました。例えば、遊ぶ始める前、玩具を用意し、保育者がお約束を伝え、全員で10まで数えて、気持ちを落ち着かせてから遊ぶ始められるように、4月から働き掛けてきました。最初は分からず、すぐに玩具に手を伸ばしてしまいう子もいましたが、今では、お山座りをし、「いち、に、さん...」と手を叩きながら数え、「もういいかい?」「もういいよ。」と待つようになりました。



そして今、「たんぽぽさんにな、たらバスに乗ってことり保育園へ行くんだよ。」と声を掛けています。このことばを聞くと、いろいろなことを自分でやろうとがんばっている姿は、とても頼もしく、進級への期待が高まっていく様子に成長が感じられます。

出来るようにな、たことを「自信」として伸ばしていけたらと思います。

一年間、保護者の皆様には、ご理解、

ご協力をいただき ありがとうございます。

